

目 次

第1章 調査の目的及び方法	
第1節 目的	1
第2節 方法	
(1) 調査対象及び調査手続き	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査回答数・回収率	2
(4) 調査集計・分析の手続き	2
第2章 調査結果	
第1節 肢体不自由特別支援学級を設置する小・中学校の概要	
(1) 通常学級の設置状況及び在籍児童生徒数	4
(2) 特別支援学級及び通級による指導教室の設置状況と在籍（または、通級）する児童生徒数	4
第2節 肢体不自由特別支援学級の概要	
(1) 肢体不自由学級に配属される教職員等	6
(2) 肢体不自由特別支援学級が開設されてからの年数	13
第3節 肢体不自由特別支援学級に在籍する児童生徒の実態	14
(1) 日常的な会話（やりとり）について	14
(2) ひらがなを読むことについて	15
(3) ひらがなを書くことについて	15
(4) 移動する方法について	16
(5) 食事について	18
(6) 排泄について	18
第4節 肢体不自由特別支援学級に在籍する児童生徒の学習の状況	
(1) 児童生徒の学習の内容	20
(2) 交流及び共同学習の状況	21
(3) 自立活動の指導について	23
(4) 教科書や副教材について	24
第5節 児童生徒の障害の実態に合わせた補助具や補助的手段の活用	
(1) 移動のための補助具や補助的手段の活用	30
(2) 姿勢を安定させるための補助具や補助的手段の活用	31
(3) 意思の表出を明確にするための補助具や補助的手段の活用	32
(4) 筆記をしやすくするための補助具や補助的手段の活用	33
(5) 上記以外で障害による困難を軽減するための補助具や補助的手段の活用	34
第6節 肢体不自由特別支援学級で指導する教員としての意見	
(1) 児童生徒の実態や障害特性の把握について	36
(2) 児童生徒の「表現する力」を育むための工夫について	38
(3) 児童生徒の「生活や学習における経験不足」について	46
第3章 考察	
第1節 肢体不自由特別支援学級の指導の実態	
(1) 在籍児童生徒の実態	53
(2) 在籍児童生徒の学習の状況	54
第2節 児童生徒の実態や障害特性をふまえた指導の現状と課題	
(1) 教科書や副教材の活用	55
(2) 児童生徒の障害の実態に合わせた補助具や補助的手段の活用	55
(3) 児童生徒の実態や障害特性を把握する際の方法と課題	57

第3節 肢体不自由特別支援学級に在籍する児童生徒の学習における課題	
（1）生活や学習における「経験の不足」に対する教員の意識	58
（2）「表現する力」を育むための工夫	59
第4節 まとめと今後の課題	60

引用・参考文献及び参考 web ページ

資料

1. 調査質問紙
2. 第49回日本特殊教育学会発表資料
調査担当者一覧